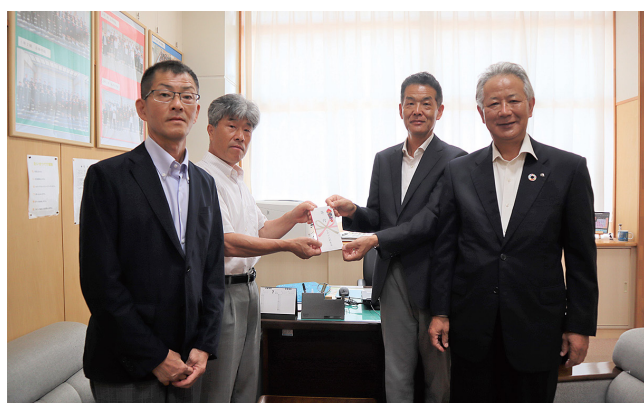


食 農教育の教材として JA なめがたしおさいが子ども雑誌を寄贈

7月12日(水)、JA なめがたしおさいの阿部尚毅常務理事から、JA の子ども雑誌『ちゃぐりん』が、市内の各小学校に寄贈されました。『ちゃぐりん』は、JA グループの「家の光協会」が発行する月刊誌で、野菜の生産や調理方法などの知識を楽しく学べる内容となっています。阿部さんは「食農教育(※)の一環として、『ちゃぐりん』を通して農業や食の大切さを学んでほしい」と語りました。寄贈いただいた雑誌は、市内各小学校へ配布し、活用させていただきます。

※食農教育・・・「食育」に加えて、食を支えている「農業に関する知識や体験」などを行う教育



▲(写真左から)創生会 今泉善弥さん、藤咲浩さん、玉造中学校山野校長、横田教育長

特 色ある学校づくりのために なめがた創生会が図書カードを寄贈

7月13日(木)、なめがた創生会(吉崎淳之会長)から、玉造中学校へ図書カードが寄贈されました。この取り組みは、子どもたちに本を読んでもらいたい、特色ある学校づくりを目指してほしいという思いから始まり、本年で6年目となります。これまでも、市立の各小学校、麻生中学校へ寄贈いただきました。なめがた創生会は、本市内でボランティア活動を行う団体で、地域に根ざした活動に日々尽力しています。寄贈された図書カードは、玉造中学校の生徒の皆さんのために活用させていただきます。

茨 城県青年農業士に認定 イチゴ農家大橋惇一さん

7月13日(木)、令和5年度茨城県青年農業士に認定された大橋惇一さんが、市長を表敬訪問しました。大橋さんからは、就農4年目で市内の先輩イチゴ生産者の指導を受け、真摯にイチゴの施設栽培に取り組んできたことで、青年農業士の認定を受けることができたこと、今後は、イチゴ栽培を通して、地域貢献や栽培技術の向上・経営改善に取り組んでいきたい旨の報告がありました。鈴木市長は、自身の加工業経験も交えて大橋さんと話し「引き続き青年農業者として行方市の農業を発展させてほしい」と今後の活躍に期待を寄せました。



街 の相談パートナーとして 人権擁護委員西谷正明さんに感謝状

7月18日(火)、水戸地方法務局鹿嶋支局林支局長から、長年にわたり人権擁護委員として活動されてきた西谷正明さんへ、法務大臣からの感謝状が伝達されました。人権擁護委員は、法務大臣から委嘱を受け、ご近所トラブルや学校でのいじめなどさまざまな人権相談を受け問題解決の手助けを行うほか、人権教室などの人権啓発活動を行っています。西谷さんは平成26年4月から、3期9年間人権擁護委員として活動され、令和5年6月30日、任期満了により退任されました。このたび、これまでの活動の功績に対して、法務大臣から感謝状が贈られました。

県民総合体育大会ハンドボール競技 優勝 麻生中学校男子ハンドボール部

7月21日(金)～23日(日)に開催された県民総合体育大会中学校大会にて、麻生中学校男子ハンドボール部が、強豪15チームからなる予選トーナメント戦、決勝リーグ戦を制し、見事優勝の快挙を成し遂げ、関東大会出場を決めました。7月31日(月)、チームの代表として横田教育長を表敬訪問した箕輪匠真さん、新堀航介さんは「一人一人の努力とチームの皆の応援が優勝につながった。関東大会はさらに強いチームと戦うので、一致団結してこれまで以上に積極的にアプローチしていきたい」と語りました。



▲(写真左2人目から)箕輪さん、新堀さん、麻生中学校眞田先生、宮内先生、濱谷教頭先生



▲(写真前段左2人目から)橋本さん、和田さん(後段左から)麻生中学校濱谷教頭先生、菅澤先生、横田先生

県民総合体育大会ソフトテニス競技 第3位 麻生中学校橋本さん・和田さんペア

7月21日(金)・22日(土)に開催された県民総合体育大会中学校大会にて、麻生中学校ソフトテニス部の橋本ももさん・和田彩葉さんペアが、強豪68ペアからなるトーナメント戦を勝ち進み、見事第3位の高成績を収め、関東大会出場を決めました。7月31日(月)、2人は横田教育長を表敬訪問し「家族や先生方、チームの支えがあったからこそ、最後まで諦めず第3位を勝ち取ることができた。関東大会では感謝の気持ちを胸に積極的に挑みたい」と語りました。

全国中学生ウエイトリフティング選手権大会 優勝 箕輪ころろさん、村上煌輔さん

7月16日(日)・17日(月)に高萩市文化会館で開催されたウエイトリフティング競技の全国大会にて、麻生中学校1年生の箕輪ころろさん、玉造中学校2年生の村上煌輔さんが、それぞれの階級で見事優勝の快挙を成し遂げました。

【大会記録】

箕輪さん 40kg級 トータル 58kg (自己新記録)

村上さん +102kg級 トータル 188kg (自己新記録)



▲表敬訪問(写真左2人目から)村上さん、箕輪さん



【箕輪さんの感想】

たくさん練習をしても上手くいかないこともあったが、大会では6本上げることができ、自己新記録を出すこともできてうれしかった。今後も練習を積み重ねて、1キログラムでも記録を出せるように頑張りたい。

(画像提供: SHUMA ちゃんねる)



【村上さんの感想】

腰の痛みによりなかなか記録が伸びないときもあったが、それが自分のモチベーションを上げるきっかけとなり、何がなんでも110kgをとることを目標に挑んだ。リハビリと練習をしてきて良かった。来年は、日本中学記録と大会記録を更新できるように頑張りたい。

県 少年少女ハンドボール大会 優勝 麻生フェニックス Jr. 女子

6月に開催された茨城県少年少女ハンドボール大会にて、麻生フェニックス Jr. 女子チームが見事優勝し、3年連続 11 回目となる関東少年少女ハンドボール大会および 6 年ぶり 4 回目となる全国小学生ハンドボール大会出場の切符を手にしました。7月27日（木）、市長を表敬訪問した選手たちは、次の大会に向けて力強く抱負を発表しました。



スポーツを通じたまちづくり事業 東海大学女子ハンドボール部との交流

7月14日（金）～16日（日）、麻生運動場体育館にて、市内のスポーツ少年団や中学校・麻生高等学校ハンドボール部を対象に、東海大学女子ハンドボール部とのスポーツ交流事業が実施されました。実技指導や合同練習、エキシビジョンマッチ等を行い、スキルアップはもちろんのこと、大学生の皆さんとの交流を深めることができました。参加者からは「分かりやすく教えてもらい、とても参考になった」、「大学生のプレーから刺激をもらった」、「今後も継続して実施してほしい」等の声がありました。

また、コカ・コーラボトラーズ株式会社からは水分補給のための飲料をご提供いただきました。JA なめがたしおさいからは冷やし焼き芋をご提供いただき、参加者に市の名物も味わっていただくことができました。



【東海大学女子ハンドボール部「Mermaids」】

女子日本代表チームの監督も務めた栗山雅倫監督が率いる強豪校。2022 年度全日本学生選手権大会において創部初のインカレ決勝進出、準優勝。2023 年度関東学生ハンドボール連盟春季 1 部リーグ準優勝。

◀ 交流事業の様子

- ① 実技指導（小学生）
- ② 合同練習（中学生男子）
- ③ 合同練習（中学・高校生女子）
- ④⑤ 練習試合（高校生男子）



まちの
広報紙

スマホでもっと楽しめる！ 市報行方デジタルブック！

音声読み上げ、スライドショー、10 言語の多言語翻訳機能が搭載された無料のスマートフォン向けアプリです。紙の情報を電子データで配信しています。

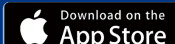
Android



行方市のコンテンツは
こちら▶



iPhone



職場体験学習 麻生中学校2年生

麻生中学校 2 年生を対象に、職場体験学習が実施されました。行方市役所では、8 月 1 日 (火) に広報紙の作成体験をしていただきました。同級生が図書館で職場体験をしている様子を実際に取材し、インタビュー・撮影に挑戦してもらいました!



職場体験インタビュー!

なぜ職場体験に図書館を選んだのですか?

— 一本が好きだったので選びました。

1 番大変な仕事は何でしたか?

— 一本を元の場所にもどすことが大変でした。思った以上に分類や種類が多く大変でした。

職場体験のどのようなところがよかったですか?

— 実際の仕事を一部体験することで、なんとなく将来の道筋が分かるような気がしました。

将来はどのような仕事に就きたいですか?

— 医療系か研究職に就きたいと思っています。

なぜその仕事に就きたいのですか?

— 病院に通っている中で多くの人にお世話になったのでそのような職業に就きたいと思いました。



▲同級生が頑張っている姿を撮影!

職場体験を終えての感想

インタビューの質問を考えるのが、思ったよりも難しかったです。質問に対して、相手がもし「まだ決めてません」「分かりません」などと答えたときに、次の質問を考えなければならないのが大変でした。逆に思ったより簡単だと思ったのは、取材に使ったカメラの操作の仕方です。しかし、あくまで「思ったより」で、ピントを合わせて、写真がぼやけないようにするのは、やはり難しかったです。

麻生中学校 2 年生 橋本月斗さん

市役所以外にも市内各所で職場体験が実施されました!

フジサキスポーツ



▲ スポーツ用品の品出しや用品整理を行いました。

Ruana hair TAYAMA



▲ 実際に模型を使い、理髪を体験しました。

つばさクリニック



▲ 受け付けで電話対応や来客者対応を行いました。

(写真提供: 麻生中学校)

市内でコウノトリのひなが誕生!!

愛称を募集します

1971年に絶滅した国内野生コウノトリは、2005年以降の試験放鳥等により、全国的に繁殖が確認されるようになりました。このたび、市内で初めてひなの誕生が確認されました。この誕生を記念して、また、多くの方に行方市生まれのコウノトリに親しみを持っていただけるよう、愛称を募集します。



▲足環装着時の様子

▼ 愛称を募集するコウノトリ

- ・ 1羽目 個体識別番号 J0674 メス
- ・ 2羽目 個体識別番号 J0675 オス

▼ 応募資格

居住地や性別、年齢問わず誰でも応募できます。

▼ 募集期間

9月1日(金)～22日(金) (当日消印有効)

▼ 応募条件

- (1) 行方市の地域イメージにふさわしい愛称であること。
- (2) 多くの人に親しみやすい愛称であること。
- (3) すでに愛称として使用されていないこと。

▼ 応募内容

以下の(1)～(3)を全て記載してください。

- (1) コウノトリの愛称・フリガナ
- (2) 愛称の理由
- (3) 応募者の郵便番号、住所、氏名、フリガナ、電話番号

※記載に不備がある場合は、無効となります。

※応募は、一人につきオス、メス各1点までです。

▼ 応募方法

応募用紙を郵送・FAX・直接持参のいずれかで提出するか、いばらき電子申請システムにてご応募ください。


※応募用紙は、環境課(北浦庁舎)、総合窓口課(玉造庁舎)、総合窓口室(麻生庁舎)に備え付けてあります。市公式ホームページからダウンロードすることも可能です。



▲ひなが羽ばたいている様子



詳細はこちら
(市公式HP)

郵送・FAXでの提出先	直接持参する場合の提出先	いばらき電子申請システム
茨城県行方市経済部環境課 〒311-1792 茨城県行方市山田 2564-10 FAX: 0291-35-3258	環境課(北浦庁舎) 総合窓口課(玉造庁舎) 総合窓口室(麻生庁舎) のいずれか	

▼ 選考(審査)方法

【一次選考】応募された愛称の中から、市で条件等を確認し、愛称候補として6点程度選考します。

【最終選考】市内小学生(対象校・学年等は検討中)の投票で、得票順にて採用を決定します。

▼ 発表

- ・採用された愛称は、市報、市公式ホームページ、報道機関への発表等での公表を予定しています。
- ・発表時に、応募者名を公表します。
- ・採用された方には、行方市の特産品を贈呈します。(採用者が多数の場合は抽選)